

2019年度「校長室からの挑戦状(3/5)」第33回

オンライン学習

(×切: 3月18日)

挑戦してみよう!

I. 次の二人の会話を読んで、以下の問いに答えなさい。

A: 昨年6月7日に米国テキサス州オースティンで開催された全米大学陸上選手権でフロリダ大のサニブラウン選手が9.97秒の日本新記録を樹立し第三位に入賞したんだよ。

B: 10秒の壁を破っても、三位なんだね。世界の壁は高いんだね。ところで、100mを9.97秒で走るということは、平均時速何kmになるのかな?

(以下の速さの計算は全て小数第二位を四捨五入すること。)

A: 速さ＝道のり÷時間だよな。式はア_____で、計算すると、時速イ_____kmだね。

B: お見事。世界記録といえば、2009年にウ_____のウサインボルトが出した9.58秒の記録はすごいよ。このときスタートラインから60～80mの位置の間では、時速44.7kmになっていたということだよ。人間の速さはどこまで伸びていくんだろうね。

問1: 全米大学陸上選手権はどこの州で開催されましたか。次の中から選んでその番号を書きましょう。

①オースティン ②フロリダ ③テキサス ④米国 ⑤オースティア

問2: アに当てはまる式を一本で書きなさい。また、イにその答えを計算して記入しましょう。

問3: ウに当てはまる国名とその首都名を書きなさい。

問4: スタートーから60～80mの地点での平均時速が44.7kmであったと仮定すると、この20mの区間をウサインボルトは何秒で通過したことになりますか。式と答えを書きましょう。

II. 次の文を読んで、以下の問いに答えなさい。

アパートやマンション等の不動産の広告をみると、駅から徒歩〇〇分との記載を目にします。このとき人が歩く早さをいくらと仮定しているのかをインターネットで調べようと思います。

問1: インターネットで検索する際に最も効果的と思うキーワードを2つ考えて書きましょう。

問2: 1分間に歩く距離を何メートルとしているのかを調べて書きましょう。

I - 問1

I - 問2

I - 問3

国名:

首都名:

I - 問4

II - 問1

①

②

II - 問2